

高松市議会議員 とみの和憲

議会レポート 第17号

令和5年(2023年)2月発行



令和4年12月定例会のご報告

決算審査特別委員長として報告(12月5日)

令和4年(2022年)12月5日、令和4年第7回定例会(12月定例会、12月議会)が招集され、その本会議の冒頭、決算審査特別委員会の委員長として登壇。

9月定例会以降、各常任委員会単位の分科会で審査されていた認定第1号令和3年度高松市一般会計・特別会計歳入歳出決算、認定第2号令和3年度高松市病院事業会計決算、認定第3号令和3年度高松市下水道事業会計決算の3件に関する決算審査特別委員会の審査の経過概要ならびに結果についてご報告させていただきました。

令和3年度会計別決算概況



区分	一般会計	特別会計
歳入総額(A)	1,874	1,136
歳出総額(B)	1,829	1,121
差引残額(形式収支) (C) = (A) - (B)	45	14
翌年度への繰越財源 (D)	7	0
実質収支 (E) = (C) - (D)	38	14

(億円)

一般会計決算の特徴

決算規模は、歳入・歳出とも2年ぶりの減(過去2番目)
【参考】R2:歳入 約2,177億円、歳出 約2,133億円

実質収支は、約38億円(4年連続の増)
【参考】R2:約31億円、R1:約27億円
単年度収支及び実質単年度収支は、約7億円の黒字

プライマリーバランスは、約29億円の黒字(4年連続の黒字)
【参考】R2:約43億円、R1:約53億円

市債残高(臨時財政対策債を除く)は、2年連続の増加で、前年度末に比べ約10億円増
(臨時財政対策債を含む残高は過去最高)

財源対策基金残高は、2年連続の増加で、前年度末に比べ約43億円増(財政調整基金は約16億円の増)

経常収支比率は89.8%となり、前年度に比べ5.0ポイント低下(第8次高松市行財政改革計画の目標値92.0%)

実質公債費比率は7.2%となり、前年度に比べ0.3ポイント改善(同目標値9.0%)

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合があります。



○認定第1号 令和3年度高松市一般会計・特別会計歳入歳出決算○

決算総額は、歳入が約3009億円、歳出が約2950億円で、形式収支で約59億円、実質収支で約52億の黒字、単年度収支としては約12億円の黒字と、4年連続の黒字決算となっています。

ただ、市債残高は、前年度(令和2年度)と比べ約21億円の増(+1.2%)で、過去最大の前年度を上回っているなど、決して財政状況が改善している訳でもありません。

とみの和憲事務所

〒761-8043 高松市中間町598番地1

TEL:087-885-0370 / FAX:087-816-8231

メール: kaz.tomino@gmail.com

ホームページ: <http://tomino.online/>



一般質問(12月13日)の概要

ファミリーシップ制度の導入

【答弁】(大西市長)

多様性を認め合う、共生社会の実現を目指す本市としては、「ファミリーシップ制度」を導入することは、意義あるものと考えており、今後、制度の導入に向け、「パートナーシップ宣誓」をされた方々や、関係団体のご意見もお聞きしながら、本市の実情に沿った制度となるよう、対象年齢や家族の範囲、届出の手法等、各種課題について検討したい。

◆ファミリーシップ制度◆

LGBTQ(性的少数者)を支援するため、パートナーシップ宣誓者の子どもや親などの近親者を、家族として行政が認める制度。

☆トピック☆

高松市では来年度(令和5年度)中にファミリーシップ制度を導入すると報道されています。当事者の思いに一步近づけるものになると思っています。

QRコードを利用して、「高松市議会ホームページ」の議会中継(動画)のページをご覧ください。

(一般質問 質問項目)

1. ファミリーシップ制度を導入する考え
2. 図書館司書などの専門スキルを生かす教育施策
3. カスタマーハラスメント対策
4. 労働者協同組合法



「高松市議会ホームページ」

労働者協同組合法での協同労働

【答弁】(市民政策局長)

少子超高齢化の進展に伴い、地域づくりをはじめ、福祉や子育てなど地域課題が複雑化する一方、地域の担い手不足が深刻化する中、地域とつながり合って主体的に、また、生きがいを持って就労するという選択ができれば、高齢者をはじめ様々な住民が自分のペースでやりがいを感じながら、身近な地域のことに携われることから、コミュニティの活性化を図り、持続可能で活力ある地域社会の実現に資することができるものであると認識している。

◆協同労働◆

働く人1人1人が出資して労働者協同組合をつくり、働く人の意見を運営に反映させ、主体的に働くという労働形態。地域社会をより良いものにする目的もあり、住民がお金を出し合って労働者協同組合立ち上げ、地域の問題を解決することも期待されている。



【編集後記】

3月3日に令和5年第1回定例会が招集され、私も一般質問(質疑)に登壇する予定にしています。高松市議会議員としては最後の質問になりますので、2期8年間の思いも込めて質問したいと思っています。引き続きの厳しくも温かいご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

富野和憲プロフィール

昭和46年(1971年)12月29日 高松市中間町生まれ(50歳)
檀紙幼~檀紙小~香東中~大手前高松高~立命館大学法学部
平成7年(1995年) 高松市役所に入庁(納税課・市民課・人事課)
平成19年(2007年) 高松市役所を退職し、国会議員秘書に
平成31年(2019年) 高松市議会議員選挙に再選(現在、二期目)

ご意見・ご要望をお寄せください。

富野携帯 090-3461-3219

公式LINEはこちら➔

